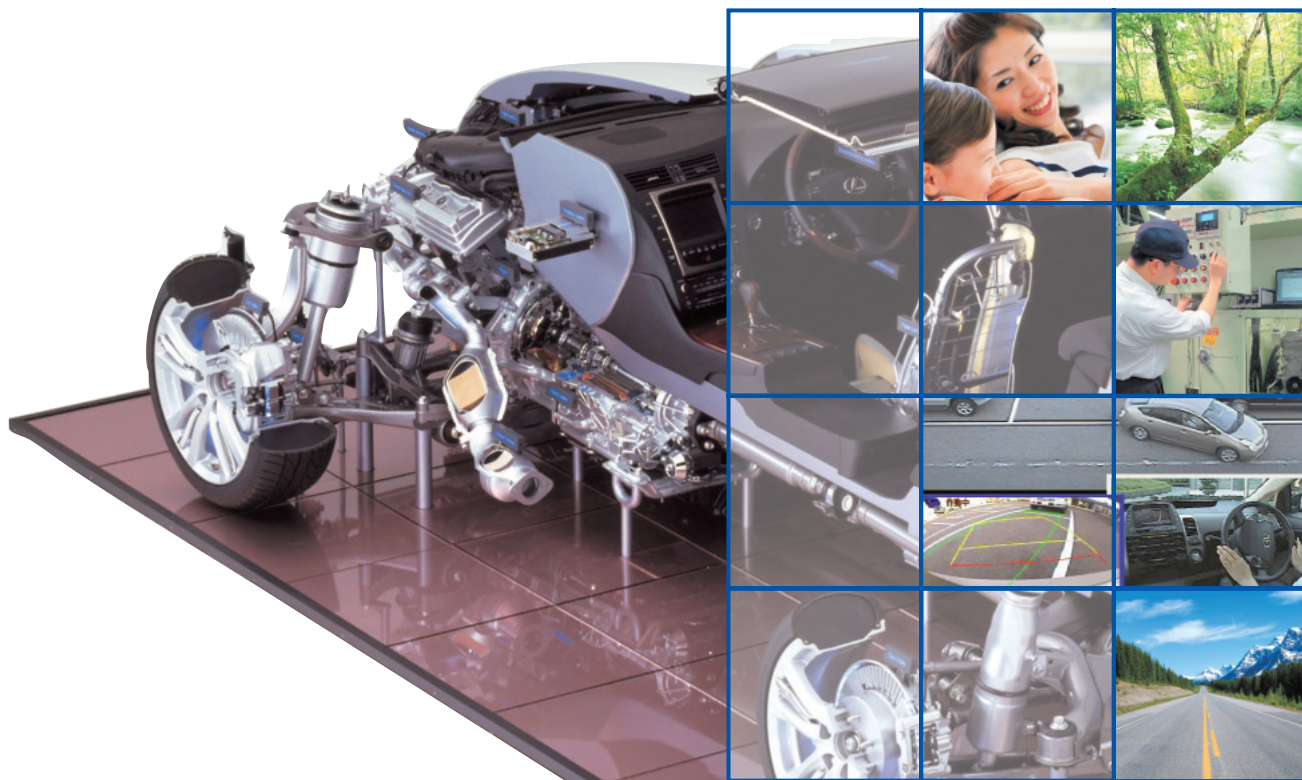


**AISIN**

株主のみなさまへ

第85期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



アイシン精機株式会社

## 国内アルミダイキャストの生産能力を増強



アイシン北海道株式会社

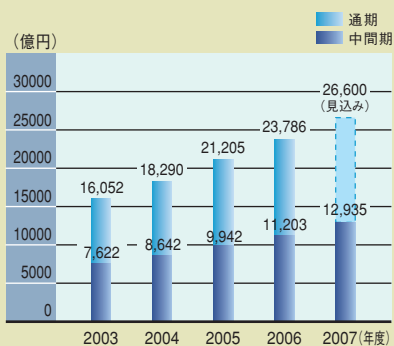
アイシンの主要事業の一つであるアルミダイキャスト事業の拡大に伴い、基幹となるアイシン精機西尾工場を中心に生産能力増強を図っています。

2006年設立のアイシン北海道(株)は2007年4月よりオートマチックトランスミッション用バルブボディとタイミングチェーンケースの生産を開始し、2008年度のフル生産をめざします。また、九州地区では2007年7月にアイシン九州キャスティング(株)を設立。九州地区における得意先の増産に対応します。

## 財務ハイライト

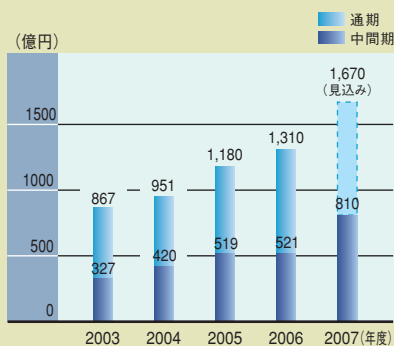
### ■売上高

12,935億円(前年同期比 15.5%増)



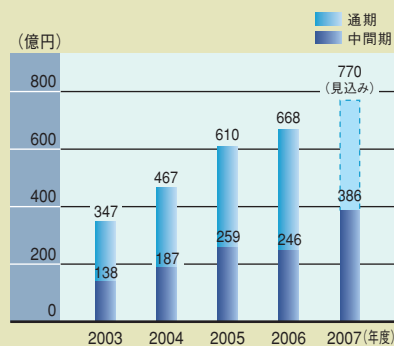
### ■営業利益

810億円(前年同期比 55.3%増)



### ■中間(当期)純利益

386億円(前年同期比 56.5%増)



**見通しに関する注意事項：** この中間報告書に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく見込みであり、実際の業績はこれらの業績予測とは異なる可能性があります。従って投資判断に際しましては、これらの計画、見通し等に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。



取締役会長  
豊田 幹司郎

取締役社長  
山内 康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第85期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の売上高は12,935億円と前年同期に比べ15.5%の増収となりました。利益面では、経常利益は前年同期に比べ55.2%増の848億円となりました。中間(当期)純利益は、前年同期に比べ56.5%増の386億円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき24円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

事業環境は、原油・原材料価格の高騰、さらに為替変動や価格競争の激化など、多くの不安定要素を抱えています。このような中で、アイシングループは、足もとの課題に的確に対処するとともに、グループの総力を結集し、グローバル競争力と企業体質の強化に積極的に取り組み、世界のトップブランドをめざしていきます。そのため、環境・安全・快適・利便の分野で、新たな市場を創

造するシステム商品の開発を加速するとともに、それを支えるコア技術の強化や人材育成を通じたものづくりの力の向上をはかり、お客様に喜んでいただける商品を積極的に提案していきます。

また、国内をはじめ、北米や豪亜、欧州などでの生産・開発・販売体制のさらなる拡充により、グローバルな供給ネットワークを整備し、世界各地でのお客様のニーズに迅速に応えられる体制を構築していきます。

さらに、社会から信頼される企業として、環境保全活動の輪を拡大し、環境のトップランナーをめざすとともに、地域に密着した企業市民活動、公正で透明性の高い企業行動を絶えず心掛け、社会との調和ある成長と社業の発展に努めていきます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月

## ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

### 自動車関連製品

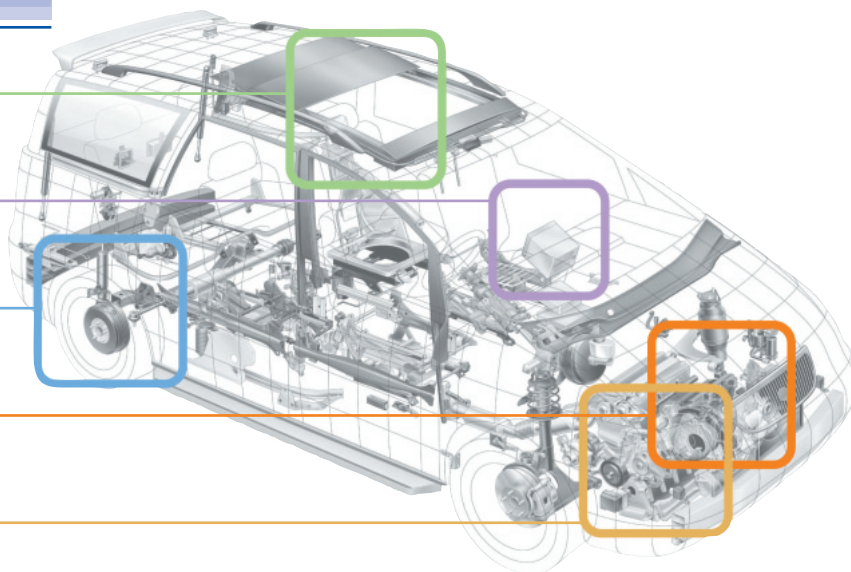
ボディ関連

情報関連他

ブレーキ及びシャシー関連

ドライブトレイン関連

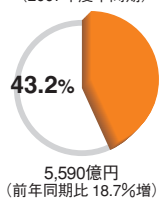
エンジン関連



#### ドライブトレイン関連

- オートマチックトランスミッション (AT)
- マニュアルトランスミッション (MT)
- オートメーテッド マニュアルトランスミッション
- 無段変速機 (CVT)
- ハイブリッドシステム
- クラッチディスク・カバー

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)

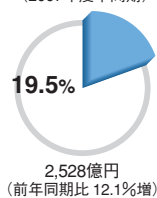


売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇ります。ATは専門メーカーとして世界トップクラスのシェアを継続しています。

#### ブレーキ及びシャシー関連

- ブレーキマスターシリンダー
- ディスクブレーキ
- ドラムブレーキ
- アンチロック ブレーキ システム (ABS)
- ESC (横滑り防止装置)
- エアサスペンションシステム

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)

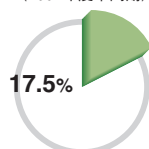


事故を起こしにくく、危険回避をしやすいクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「走る」・「曲がる」・「止まる」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発しています。

## ボディ関連

- ドアロック
- サンルーフ
- ドアフレーム
- パワースライドドアシステム
- パワーシート
- ドアハンドル
- パワーバックドアシステム
- 体重検知センサー

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)



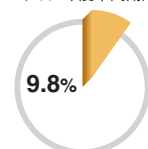
2,264億円  
(前年同期比 8.0%増)

快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供しています。

## エンジン関連

- ウォーターポンプ
- インテークマニホールド
- オイルポンプ
- エキゾーストマニホールド
- ピストン
- 可変バルブタイミング機構 (VVT)

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)



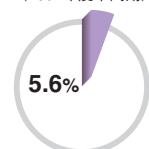
1,263億円  
(前年同期比 19.6%増)

エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進しています。

## 情報関連他

- カーナビゲーションシステム
- インテリジェント パーキング アシスト
- 駐車アシストシステム
- フロント&サイドモニターシステム
- レーン逸脱報知システム
- ドライバーモニターシステム

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)



720億円  
(前年同期比 14.6%増)

カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界トップクラスのシェアを誇ります。

## 粗形材関連

- アルミダイキャスト製品
- 鋳鉄製品
- プレス製品
- 樹脂成形品
- マグネシウムダイキャスト製品

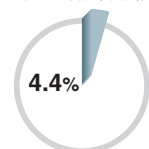
アイシングループ内の  
内部取引により相殺

グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むことにより、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上をはかっています。

## 住生活関連機器 その他

- ベッド・寝装品
- シャワートイレ
- ガスヒートポンプエアコン (GHP)
- コージェネシステム
- ペルチェモジュール
- ファイバーレーザー
- ミシン
- 介護ベッド
- 住宅設備機器
- クライオポンプ
- 音響機器
- パイオ関連機器
- 刺しゅう機
- 電動車椅子
- 住宅リフォーム
- クライオクーラー

売上高および構成比率  
(2007年度中間期)



568億円  
(前年同期比 24.5%増)

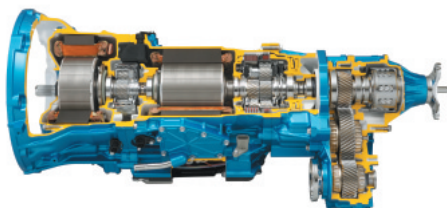
GHPやコージェネシステム、ベッド・寝装品、シャワートイレ、ミシン、リフォームサービス、介護・福祉機器などを取り扱っています。今後、環境問題の進展や高齢化などの社会構造の変化にともない、省エネルギーや健康で快適な暮らしに対するニーズは高まってくると予想されます。こうしたニーズを先取りし、社会やお客様にとって価値のある商品の開発に取り組んでいます。

# 事業別の概況

## ドライブトレイン関連

2007年度中間期売上高は5,590億円（前年同期比18.7%増）となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エーアイの6速MT等の販売が好調に推移したことによるものです。ATの当中間期の販売台数は287万台で、シェアは専門メーカーとして世界トップクラスです。

**New** 4WD ハイブリッドトランスミッション (HR-10F)  
世界初



ハイブリッドパワーを確実に路面に伝え、安定した走行を実現する新開発フルタイム4WDシステムを採用

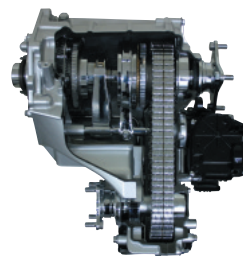
《搭載車種》

- レクサス「LS600h」

アイシン・エイ・ダブリュ

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

**New** 高容量後輪駆動車 (FR) 用トランスファ (TN2)



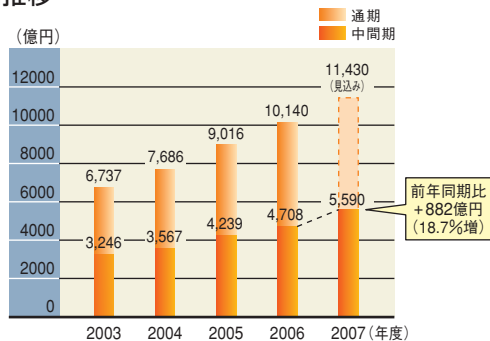
動力伝達の構造変更により、従来製品に比ベトルク容量をアップ、且つ軽量・コンパクト化の両立を実現し燃費向上に寄与

《搭載車種》

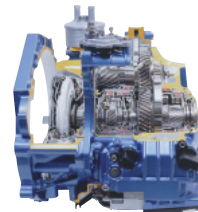
- トヨタ「ランドクルーザー200シリーズ」

アイシン・エーアイ

### 売上高推移



**拡販** 中容量前輪駆動車用 (FF) 6速AT (TF-60SN)



欧州・中国市場向け車両への販売が拡大

《搭載車種》

- 一汽フォルクスワーゲン「Magotan」

アイシン・エイ・ダブリュ

## ブレーキ及びシャシー関連

2007年度中間期売上高は2,528億円（前年同期比12.1%増）となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

### New クロールコントロール

世界初



車輪の空転を出来る限り小さくするように、エンジンとブレーキを最適に制御することにより、アクセルとブレーキの操作を自動化

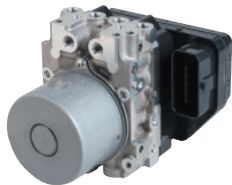
#### 《搭載車種》

- トヨタ「ランドクルーザー 200シリーズ」

アドヴィックス

(トヨタ自動車㈱と共同開発)

### 拡販 ESCモジュレーター



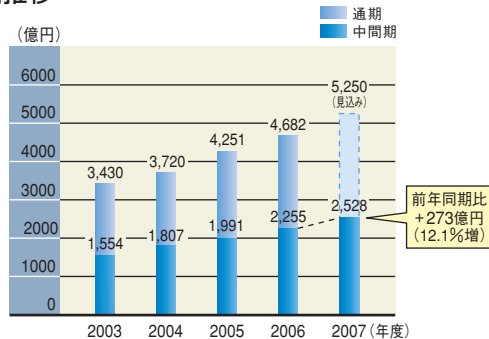
北米でのESC（横滑り防止装置）の装着義務化により需要が拡大

#### 《搭載車種》

- トヨタ「カローラ」

アドヴィックス

### 売上高推移



## ボディ関連

2007年度中間期売上高は2,264億円（前年同期比8.0%増）となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムやシート、ドアハンドルなどの販売が好調に推移したことによるものです。

### 拡販 リヤシートリラクゼーションシステム

スライド、リクライニング、中折れ（上体のみ起こす）、オットマン（足置き）の4つの機能により後部座席の居住性を飛躍的に向上



#### 《搭載車種》

- レクサス「LS600h」、  
「LS600hL」

アイシン精機

(トヨタ紡織㈱と共同開発)

### 拡販 パワースライドドアシステム



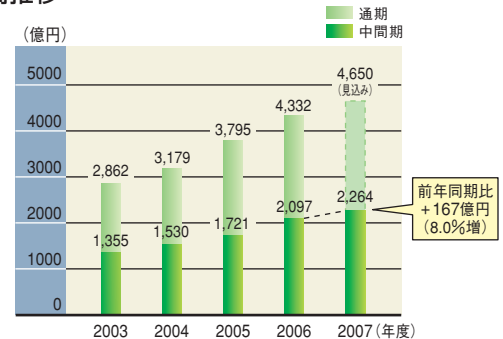
スライドドア内部に駆動ユニットを内蔵し、広い車室空間を確保

#### 《搭載車種》

- トヨタ「ノア」、  
「ヴォクシー」など

アイシン精機

### 売上高推移



# 事業別の概況

## エンジン関連

2007年度中間期売上高は1,263億円（前年同期比19.6%増）となりました。これは、アイシン精機をはじめ、北米、欧州でのエンジンフロントモジュール等のアルミ部品の販売拡大によるものです。

### New ローターバルブ式可変インテークマニホールド



可変吸気部に吸気圧力損失の少ないロータリーバルブを採用し、エンジン出力を向上

#### 〈搭載車種〉

- トヨタ「ノア」、「ヴォクシー」

#### アイシン精機

(MANN+HUNMEL社と共同開発)

### New SUSエキゾーストマニホールド



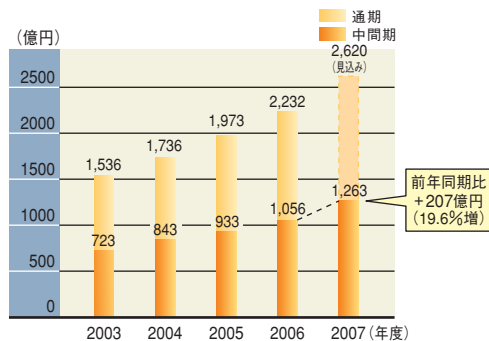
独立ロングランチ化による高出力化（新長期排気ガス規制対応）と単管パイプ採用によるシンプル構造で低コスト化を実現

#### 〈搭載車種〉

- トヨタ「ノア」、「ヴォクシー」

#### アイシン高丘

## 売上高推移



## 情報関連他

2007年度中間期売上高は720億円（前年同期比14.6%増）となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

### New マップオンデマンド 一地図差分更新システム

世界初 目的地周辺の道路変更部分の地図データを、携帯電話等を通じてカーナビゲーションへ配信。常に更新された地図で経路検索・案内が可能になり、最適な道案内を提供

#### 〈搭載車種〉

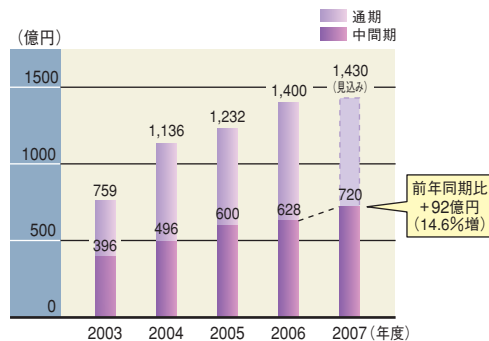
- トヨタ純正カーナビゲーションシステムに搭載

#### アイシン・エイ・ダブリュ

(トヨタ自動車(株)、(株)ゼンリン、(株)デンソー、(株)トヨタマップマスターと共同開発)



## 売上高推移





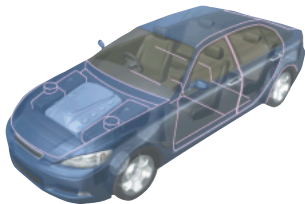
## 粗形材関連

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術導入に積極的に取り組んでいます。

### ●粗形材関連における国内主要グループ各社の主な製品

会社名	主な担当製品
アイシン精機	プレス部品・アルミダイキャスト製品
アイシン高丘	鋳鉄・アルミダイキャスト製品
アイシン化工	樹脂成形・化成品
アイシン軽金属	アルミダイキャスト製品

### 拡販 低温短時間硬化型シーラー



低温短時間焼付での性能向上により省エネ、CO<sub>2</sub>削減に貢献

#### 〈搭載車種〉

- トヨタ「カローラ」

アイシン化工

## 住生活関連機器 その他

2007年度中間期売上高は568億円（前年同期比24.5%増）となりました。アイシンは環境に優しい商品の実用化をめざし、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

### New ベッドギャラリー「ASLEEP東京」をオープン



関東地区でのシェア拡大を狙い、国内2番目となるベッド関連商品のショールームを六本木に開設  
 <詳しくは>

<http://www.aisin.co.jp/life/bed/>

アイシン精機

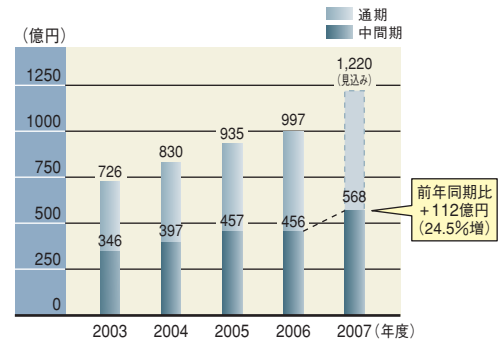
### New リクライニング昇降座いす「リク楽」



高価格帯にしかなかった「リクライニング機構」を、自社製品の介護ベッド用駆動部品と共有化したことで、低価格帯での提供を実現

アイシン精機

### ●売上高推移



\*売上高については自動車関連分野の各々の製品に含まれています。

# 連結決算

## ■ 中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前年中間期	当中間期
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2007年4月1日から 2007年9月30日まで
売上高	1,120,307	1,293,501
売上原価	981,747	1,115,322
販売費及び一般管理費	86,389	97,147
営業利益	52,171	81,031
営業外収益	10,087	12,439
営業外費用	7,563	8,588
経常利益	54,695	84,882
税金等調整前中間(当期)純利益	54,695	84,882
法人税、住民税及び事業税	13,901	27,288
法人税等調整額	5,241	2,203
少数株主利益	10,869	16,762
中間(当期)純利益	24,682	38,628

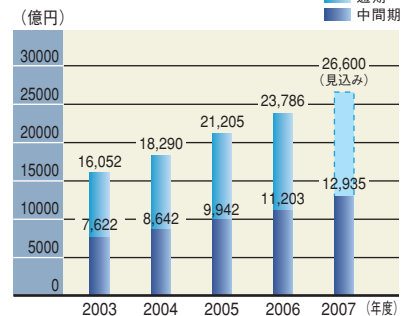
### 売上高

主要得意先の自動車生産台数の増加に加え、車の環境・安全・快適・利便を追求した製品の積極的な営業活動の展開により前年同期に比べ15.5%増加しました。

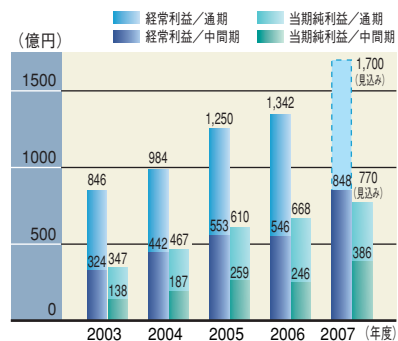
### 経常利益

売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだ結果、前年同期に比べ55.2%増加しました。

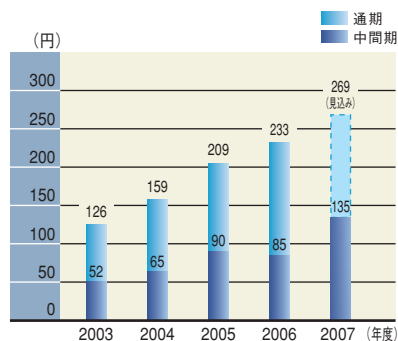
### ■ 売上高



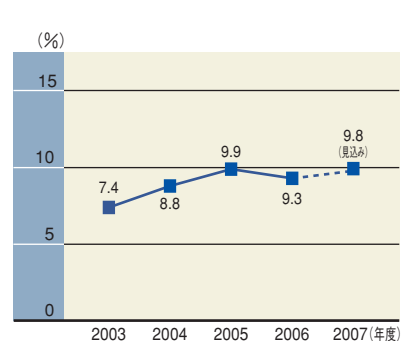
### ■ 経常利益/当期純利益



### ■ 1株あたり当期純利益



### ■ 自己資本利益率 (ROE)



## ■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	前期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)	科目	前期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	<b>767,369</b>	<b>778,881</b>	流動負債	<b>679,070</b>	<b>635,896</b>
現金及び預金	98,628	94,428	支払手形及び買掛金	359,873	349,933
受取手形及び売掛金	363,726	374,329	短期借入金及び社債	45,518	48,978
有価証券	38,622	42,634	その他	273,678	236,985
たな卸資産	168,762	170,089	固定負債	<b>402,972</b>	<b>394,673</b>
その他	98,360	98,100	社債	20,000	20,000
貸倒引当金	△ 732	△ 702	長期借入金	221,076	220,603
固定資産	<b>1,270,526</b>	<b>1,251,525</b>	繰延税金負債	72,672	66,837
●有形固定資産	<b>839,192</b>	<b>843,192</b>	退職給付引当金	86,978	85,910
建物及び構築物	240,051	249,186	長期未払金	1,052	231
機械装置及び運搬具	419,876	423,556	その他	1,238	1,092
その他	179,265	170,449	負債計	<b>1,082,042</b>	<b>1,030,570</b>
無形固定資産	<b>16,139</b>	<b>15,979</b>	<b>(純資産の部)</b>		
●投資その他の資産	<b>415,194</b>	<b>392,352</b>	株主資本	<b>602,382</b>	<b>635,118</b>
投資有価証券	357,422	331,634	資本金	45,049	45,049
長期貸付金	4,259	4,616	資本剰余金	57,891	58,762
繰延税金資産	24,228	25,088	利益剰余金	501,009	532,798
その他	29,773	31,472	自己株式	△ 1,567	△ 1,491
貸倒引当金	△ 488	△ 458	評価・換算差額等	<b>156,361</b>	<b>150,062</b>
			その他有価証券評価差額金	145,136	127,117
			繰延ヘッジ損益	△ 667	△ 594
			為替換算調整勘定	11,892	23,540
合 計	<b>2,037,896</b>	<b>2,030,406</b>	新株予約権	<b>167</b>	<b>339</b>
			少数株主持分	<b>196,941</b>	<b>214,316</b>
			純資産計	<b>955,853</b>	<b>999,836</b>
			合 計	<b>2,037,896</b>	<b>2,030,406</b>

### 投資その他の資産

保有株式の株価変動などにより有価証券の評価益が前期に比べ267億円減少しました。

### 有形固定資産

有形固定資産は40億円増加しました。生産技術力の向上に向けて本社隣接地に新設した生産技術センターなどが主な要因です。

# 連結決算

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前年中間期	当中間期
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2007年4月1日から 2007年9月30日まで
● I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	71,281	92,851
● II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 134,725	△ 99,755
● III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	32,524	△ 6,117
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	17	2,597
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 30,901	△ 10,424
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	128,212	136,307
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	97,311	125,883

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前中間(当期)純利益 +848億円
- ・減価償却費 +821億円
- ・その他 △741億円

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・設備投資(支払ベース) △965億円
- ・投資有価証券増減他 △32億円

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

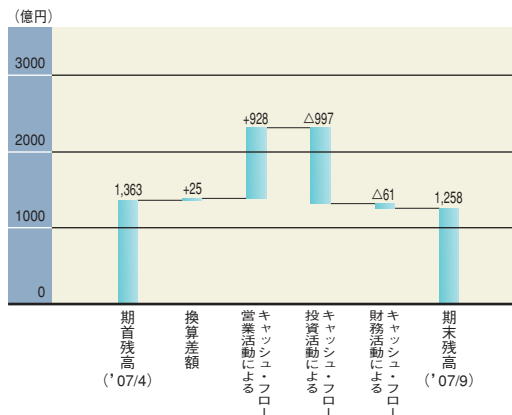
- ・借入金増額 +22億円
- ・配当金支払 △68億円
- ・その他 △15億円

## 研究開発費の推移

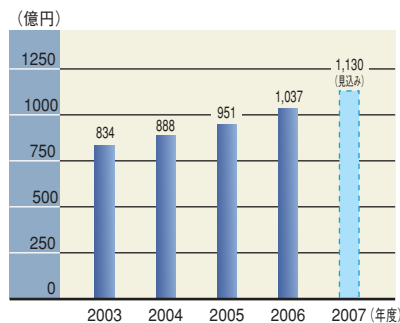
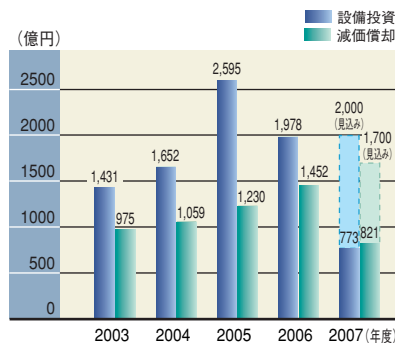
技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

一時的な環境変化や業績変動に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。

## ■ キャッシュ・フロー



## ■ 設備投資/減価償却



## ■ 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前年中間期 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	当中間期 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
売上高	366,755	404,106
売上原価	329,521	359,151
販売費及び一般管理費	28,396	30,775
営業利益	8,836	14,179
営業外収益	9,562	14,322
営業外費用	3,897	4,078
経常利益	14,501	24,423
税引前中間(当期)純利益	14,501	24,423
法人税、住民税及び事業税	1,200	5,400
法人税等調整額	2,107	644
中間(当期)純利益	11,193	18,378

## ■ 中間配当について

2007年10月31日開催の取締役会において、2007年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当金 ..... 1株につき24円
2. 支払い請求権の効力発生日および支払開始日  
..... 2007年11月26日

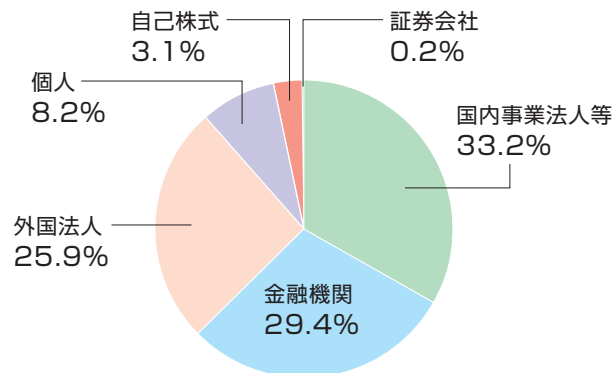
## ■ 貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)	科 目	前 期 (2007年3月31日)	当中間期 (2007年9月30日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	341,769	333,924	流動負債	279,883	255,305
現金及び預金	25,425	20,495	支払手形及び買掛金	111,515	109,390
受取手形及び売掛金	152,801	149,514	その他	168,367	145,915
有価証券	28,734	37,114	固定負債	347,577	343,670
たな卸資産	21,288	23,456	社債	20,000	20,000
その他	113,768	103,580	長期借入金	214,000	213,000
貸倒引当金	△ 248	△ 237	繰延税金負債	73,156	62,973
固定資産	727,287	704,550	退職給付引当金	38,003	36,689
有形固定資産	182,260	180,420	長期未払金	451	0
建物及び構築物	66,878	69,844	その他	1,966	11,006
機械装置及び運搬具	64,914	64,235	負債計	627,461	598,975
その他	50,467	46,340	<b>(純資産の部)</b>		
無形固定資産	3,978	3,649	資本金	45,049	45,049
投資その他の資産	541,048	520,480	資本剰余金	63,139	62,926
投資有価証券	98,409	91,444	利益剰余金	233,429	244,247
関係会社株式・出資金	350,556	336,631	自己株式	△ 39,749	△ 37,191
その他	92,219	92,543	評価・換算差額金	139,558	124,127
貸倒引当金	△ 137	△ 138	新株予約権	167	339
合 計	1,069,056	1,038,475	純 資 産 計	441,595	439,499
			合 計	1,069,056	1,038,475

発行する株式の総数 ..... 700,000 千株  
 発行済株式の総数 ..... 294,674 千株  
 株主数 ..... 20,902 名

### 株式の分布状況



### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.0
株式会社豊田自動織機	19,658	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	15,585	5.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	14,526	5.1
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,529	3.3
日本生命保険相互会社	7,979	2.8
東和不動産株式会社	6,344	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.1
株式会社損害保険ジャパン	5,855	2.1
資産管理サービス信託銀行株式会社	5,818	2.0

※上記のほか、当社が所有している自己株式9,072千株があります。

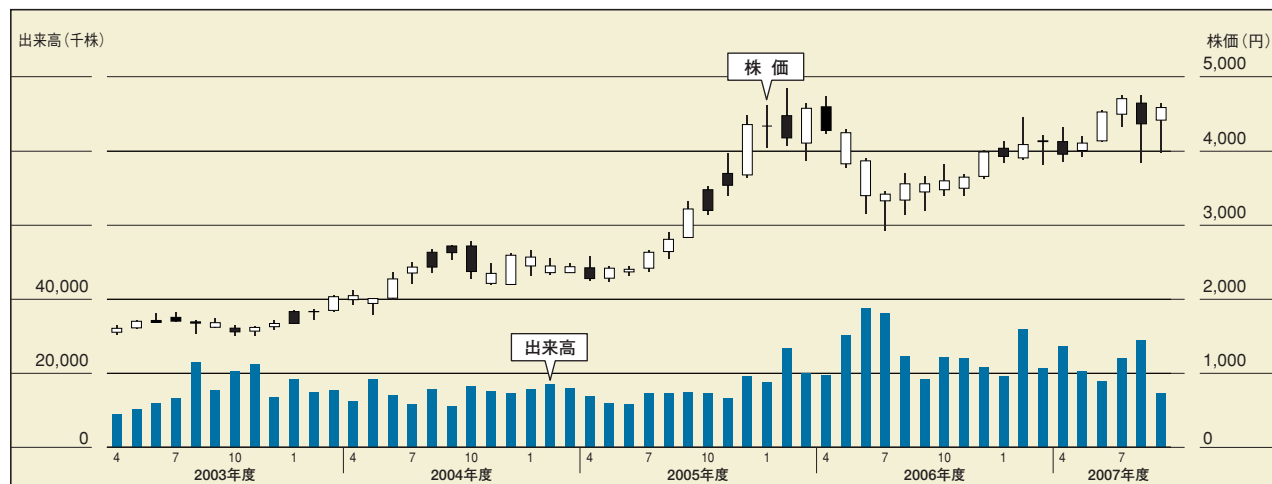
### 1株当たり配当金

※( )内は見込み

	2003	2004	2005	2006	2007(年報)
中間(円)	8.0	10.0	13.0	16.0	24.0
期末(円)	10.0	14.0	19.0	24.0	(24.0)
合計(円)	18.0	24.0	32.0	40.0	(48.0)

### 株価・出来高の推移

証券コード:7259 単元株式数:100株



## ■会社概要 (2007年9月30日現在)

会社名	アイシン精機株式会社
本社所在地	〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 TEL 0566-24-8441 (代表)
設立年月日	1949年6月1日
資本金	450億円
従業員数	単独 11,831人 連結 70,240人
連結対象会社	連結子会社 145社 (国内67社、海外78社) 持分法適用会社 12社

### ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報は「株主・投資家情報」のページをご覧ください。  
また、EメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を行っています。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスいただき、画面右側の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。  
みなさまのアクセスをお待ちしています。

## ■取締役および監査役 (2007年9月30日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	堀 場 正 樹	常勤監査役	林 稔
取締役社長	山 内 康 仁	専務取締役	板 倉 伸 二	常勤監査役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	内 本 恒 男	監 査 役	豊 田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司	専務取締役	名 倉 敏 一	監 査 役	水 谷 渺 行
取締役副社長	奥 矩 雄	専務取締役	西 村 淳 一	監 査 役	濱 田 道 代
取締役副社長	中 村 俊 一	取 締 役	山 村 慎 一 郎	監 査 役	山 田 洋 久
		取 締 役	周 防 雅 弘		
		取 締 役	谷 口 孝 男		
		取 締 役	石 川 敏 行		

## ■常務役員 (2007年9月30日現在)

石 山 正 二	島 貫 静 雄	水 島 寿 之	金 田 芳 彦
森 田 隆 史	辻 村 健 次	加 藤 喜 昭	高 橋 清 一
間 瀬 隆	榎 本 貴 志	赤 木 基 修	矢 木 伸 介
瀬 川 儀 一	齋 藤 雅 康	高 橋 寛	佐 々 木 庸 臣
神 尾 哲 樹	宇 佐 見 一 美	岡 部 均	杉 浦 正 泰
藤 江 直 文	三 矢 誠	吉 田 強	

## 株式についてのご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 期末配当金支払い株主確定日 3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
- 単元株式数 100株
- 証券コード 7259
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
- 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

## 株主インフォメーション

### ■ 株券の電子化についてのご案内

2009年(平成21年)1月(予定)に株券電子化が実施されると、上場会社の株券は無効となりますが、**株主様の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。**株券は本人名義になっていますか? 株券を紛失されていますか? **ご本人名義になっていない場合は、名義書換の手続きを、株券を紛失された場合は、再発行の手続きをお早めにお済ませください。**詳細は、同封のリーフレットをご覧ください。

お手元の株券は、お早めに証券会社を通じて「証券保管振替機構(ほふり)」に預け入れられることをおすすめします。

### ■ 中間配当金のお受け取りについて

今回お届けした第85期中間配当金領収証による配当金のお受け取り期間は平成19年12月28日(金)までとなっております。第85期中間配当金領収証をお持ちになって、お近くのゆうちょ銀行および郵便局でお早めにお受け取りください。

### ■ 株式手続きについて

住所変更、名義書換、株券を紛失された場合の手続き、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは、下記の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットにて承っております。

お問い合わせ先 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行 証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-232-711(お問い合わせ:オペレーター対応)  
0120-244-479(音声自動応答:用紙のご請求専用)  
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地  
電話(0566)24-8441(代表)



本紙は環境保護に配慮し、古紙配合率100%再生紙を用い、アメリカ大豆協会認定の「大豆油インキ」を使用して印刷されています。